

東急株式会社第5回・第6回 無担保社債（サステナビリティボンド）の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：飯田 浩一）は、東急株式会社が発行するサステナビリティボンド（以下「本サステナビリティボンド」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本サステナビリティボンドで調達された資金は、①新型車両、②鉄道関連インフラ整備（ホームドアなど）、③南町田グランベリーパーク、④サテライトシェアオフィス（NewWork）を主な対象として、開発や整備などに要した支出のリファイナンスとして充当する予定です。

東急株式会社は、サステナビリティボンド発行のために、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2018」「ソーシャルボンド原則(Social Bond Principles)2020」「サステナビリティボンド・ガイドライン(Sustainability Bond Guidelines)2018」に即したサステナビリティボンド・フレームワークを策定し、Vigeo Eiris からセカンドオピニオンを取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集、お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスクを設置し、その後2019年からサステナブル・ファイナンス室を新設して、これらの取り組みを強化しています。

さらに、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{※1}とパートナー契約を締結しています。

これらの取り組みにより、当社はサステナビリティボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以 上

※1 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆ドルの債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。